

震災後初めて 歌声披露

東日本大震災で被災した子どもたちの心のケアを続けるNPO法人「グラウンドワーク三島」は12月、宮城県石巻市の「石巻少年少女合唱隊」を県東部に招き、クリスマスのチャリティーコンサートを開催する。震災で練習場所を失った合唱隊に、震災後初めての発表会の場を提供する。合唱隊のメンバー約20人は、県東部の少年少女合唱隊・団と舞台で交流する予定で、本番を心待ちにして

石巻少年少女合唱隊

いる。震災後、グラウンドワーク三島は計9回にわたり「心を元気にするショートツアー」を開催し、被災地の子どもと親族ら470人を県東部の温泉などに招待してきた。渡辺豊博事務局長らが石巻市の被災者から「子どもたちが歌う場所をなくしてしまった」と聞き、「石巻少年少女合唱隊を励ますコンサート」を県東部で開催することを申し出た。

御殿場と三島で クリスマス発表会

交渉の結果、同ツアーの主旨に賛同した御殿場高原時之栖(御殿場市神山)と、みしまプラザホテル(三島市本町)が会場を提供することに決定。収益金を全額、同ツアーの資金にあてる。コンサート終了後は合唱隊員の保護者を三島市民との交流会に招き、慰労することになった。

みしまプラザホテルは「震災と闘う子どもたちの歌声を聞く私たちがきっと、励まされる機会になるだろう。石巻のお父さん、お母さんたちにも、交流会を通して元気になってもらいたい」(文化事業部)と話す。

チケット(1000円)は発売中で、曲目は「くるみ割り人形」など。開演は①12月23日午後5時半、御殿場高原時之栖(0550・87・3700)②12月24日午後5時、みしまプラザホテル(0555・972・2121)。

【野島康祐】